

志高錬成

～志を高く持ち、
よりよい成果を得るために、
粘り強く自分を鍛える～



令和8年8月28日 11号

佐久市立浅科中学校 文責：中島

「(前回も言いましたが…)。2学期にみなさんをお願いしたいことがあります！！」

前回の「志向錬成」で、2学期にみなさんをお願いしたいことを載せました。しかし、後でよく考えてみたら…まだありました(笑)。前回は1学期の終業式で発表をしてくれた3人の作文を載せ、「自分の行動を具体的に振り返り、具体的な目標を立てることが大切!」なんて話をしました。でも、それだけでは十分ではありません。もしかすると「個人」という視点だとそれで良いのかもかもしれませんが、「学校」という視点で考えるとちょっとなあ…なんて思っています。

で、今回のお話ですが…その前に、みなさんは浅科中学校のホームページがリニューアルしたことを知っていますか?。「ホームページなんてあるの?」と思った人や気になる人は是非見て下さい。実は、ホームページの中でみなさんの生活の様子を載せています。まあ、ブログみたいなものです。その1つに「みなさんは「TEAM(チーム)」の意味を知っていますか?」というタイトルの書き込みがありました。おそらく、多くの人が「TEAM(チーム)」という単語は知っていると思います。では、この単語の語源って何だか知ってますか?。今回の「志向錬成」は「TEAM(チーム)」という言葉から、みなさんに少し考えてもらおうと思っています。

先ほど「TEAM(チーム)」の語源はなんですか?と聞きました。実は、「TEAM(チーム)」という言葉は、いくつかの言葉の頭文字を取って作られています。…ここまで来ると気になってきましたよね(多分)?。では、説明しましょう。「TEAM(チーム)」の語源は「Together」「Everyone」「Achievement」「More」の頭文字を取ってできた言葉です。ちなみに、みなさん(特に3年生!)は4つの言葉の意味が分かりますか…分からない人のために説明しましょう(笑)。「Together(一緒に)」「Everyone(みんな)」「Achievement(達成する)」「More(もっと・さらに)」が4つの言葉の意味になります。これを見て「確かにそうだよなあ〜」って私は思いました。同じ目標に向かってみんなで頑張ること。「チームワーク」なんて言葉もあります。しかし、そこにいる人たちがいきなり「チーム」になる訳ではありません。では、チームになるために必要なことって何でしょうか…?

私は、チームという言葉が好きです。そして便利な言葉でもあるなと感じることもあります。組織的につながりが無い人同士でも何かに対して一緒にやることになれば、それはチームです。志もチームです。しかしながら、私自身チームの本当の意味を理解しているかと言えば、それはまだまだ理解できていないと思っています。チームワークの理解を深めるために、重要な要素とはチームワークの理解を深めるために、重要な要素として考えられることは、人が集まり、チームとなって活動する時には、メンバー個人の能力を上げる働きと、下げる働きがあるということです。そして、良いチームワークがあるチームは、チーム全体の能力が上がり、悪いチームワークがあるチームはチーム全体の能力が下がります。例えばあるメンバーが存在するだけでチームが活性化する。具体的には「メンバーが頑張っているから、自分も頑張ろう!」という気持ちになったり、メンバーからの応援があれば、さらに個人の力がパワーアップされたりすることがあります。人が増えると息を合わせるのが難しくなります。またチームでは「手抜き」も起こります。「他の人がやるから、自分はやらなくても良い」という気持ちになり、結果的にチームの能力が落ちることもあるはず。

それでは何を大切にすればチームワークは発揮されるのでしょうか?。同じ目的、志を持つということの大切さ。仲が良いということは素晴らしいことですが、それだけではチームワークは発揮されません。私は昔バスケットボールをやっていたので、それに置き換えるとよく分かるのです

が、コートに出ているメンバー、応援しているメンバー全員が勝利に向かって一体化している瞬間を感じることがありました。そのようなときはやはり、とんでもないチームワークのパワーが発揮されているものです。自分のことにおいても、今一度同じ目的をもって取り組んでいるのか考えてみるべきなのではないでしょうか？。これって冷静に考えてみるとバラバラであることが多いと思います。一人はチームが目指す目的に向かって邁進しているのに、一人はお金のため...そしてもう一人はなんとなく・・・では当然個々の素晴らしいチカラが分散されるところかマイナスになってしまいます。とはいえ、自分だけが必死に目的に向かっていくことを強要することも少し違います。「私はこの日までに〇〇を完了させたいのに！」ということは単なるわがままになってしまいます。私は、互いを信頼し合うということの大切さを痛感します。信頼できないと思う自分自身を変えること、信頼されるために自分自身を変えること。両面で向上して行きたいものです。私はここをはき違えている組織が多いのではないかと考えています。「私は〇〇担当なので△△のことは関係がありません」というような。うまく行っていない組織は、メンバーそれぞれがそういう意識になりがち。スポーツに置き換えてみて、例えば野球でも「私はライトなので、センターに飛んできたボールは絶対にとりません。」みたいなことはありえないですね。ライトであろうが、センターであろうが「ボールをキャッチする」ということは変わりがないはず。「互いに信頼し合った上で、ひとつの目的に向かって協力しあう」。私が「チームワークとは？」というところで今のところ理解していることですが、この「協力しあう」ということが本当に重要だなと思います。これをリーダーに言われたから...ではなくそれぞれが自主的にやっていけるようになり、リーダーはそれを信頼して任せていく...これが本当に強いチームなのではないかな？と思います。あなたが所属しているチーム（クラス）はいかがでしょうか？もっともっと自分たちのこと、自分のことを見直さなければならないことはありませんか？。私も改めて、志を含めた関わりのあるチームのこと。見直していきたいと思います。しっかり目的を共有することから、まだまだできてない。未熟すぎます。まずは自分が変わらなきゃ！...ですね！。

みなさんは、上に載せた文章を読んで、どんな感想を持ちましたか？。「チームワーク」という言葉。その集団の良し悪しを決める言葉として使われることが多いと思います。「チームワークが良い」と言われれば、その集団は「まとまっている」という意味ですし、「チームワークが悪い」と言われれば、その集団は「自分勝手な人が多い」という意味になるのだと思います。もちろん、チームワークが良い方がいいに決まっています。では、その「チームワーク」を良くするに、どんなことが必要なのでしょう...？。その「ヒント」になるのが、上に載せた文章だと私は思うのです。特に「これをリーダーに言われたから...ではなくそれぞれが自主的にやっていけるようになり、リーダーはそれを信頼して任せていく...これが本当に強いチームなのではないかな？と思います。」の部分が特に大事だと思うのです。

浅科中を良くする(=チームワークを良くする)のは浅科中の「誰か」ではありません。浅科中を良くするのは、みなさん一人ひとりなのです。つまり、自分自身ということなのです。「だって〇〇が…」という「言い訳」をしたり、ひどい時には「自分には関係ない…」と言う人もいます。でも、浅科中ことに「関係ないこと」など1つもありません。だから「みんな」で頑張ることが大事なのです。これから「クラス」や「学年」「全校」で活動する機会は増えます。そんな時「チームワークって…」ということを是非考えてみましょう。それが、浅科中が「TEAM」になる第1歩なのです！。

前回に引き続き、2学期が始まるにあたり、私はみなさんに考えて欲しいことを書かせてもらいました。2学期は「行事の学期」と呼ばれるくらい、いろいろなことがあります。その1つ1つに浅科中が「チーム」になるチャンスがあると思います。「誰かが」ではなく「まずは自分が…」という気持ちを持ちながら2学期を過ごして欲しいと思っています。

